

＝第8回『勤務環境改善に向けたトップマネジメント研修会』＝

日時 令和4年11月4日（金）13：30～15：30
開催方法 ウェビナー（Zoomを使ったオンラインセミナー）でライブ配信
 講師の浅見社労士は遠隔地からオンラインにて講演
対象者 医療機関の管理職等（院長、副院長、医師、各部門の責任者、担当者ほか）
主催 鳥取県医療勤務環境改善支援センター（鳥取労働局・鳥取県委託事業）
共催 公益社団法人鳥取県医師会
概要 医療機関の管理者等を対象に、働き方改革の推進及び医療勤務環境改善に向けた意識づけを図ること等を目的として開催した。

内容

●開会及び挨拶 公益社団法人鳥取県医師会 会長 渡辺 憲

●講演 演題「医師の働き方改革の動向」

講師 浅見社会保険労務士法人 代表社員 浅見 浩 氏

（講演の要旨）

BC水準指定申請までの流れと労働時間短縮計画のポイント、宿日直許可、自己研鑽、副業・兼業と現在の最新情報についてお話があった。

（質問）

医師労働時間短縮計画に記載されている労働時間と実際の労働時間に乖離があることも考えられる。申請に当たって注意する点があれば教えて欲しい。

（回答）

医師の労働時間短縮計画を作成するに当たり、前年度実績の数字と令和6年度目標の数字を記載するが、仮に今年度提出となると、令和3年度実績が記載となる。

医師の労働時間管理の状況は令和3年度、4年度、6年度での混合では、随分違ってくるということも考えられる。今回説明したガイドラインの内容を踏まえて、しっかりと労働時間を



把握するようになると、実績と計画の数字があまりにも乖離しているということは出てくると思われるが、短縮計画の中においては数字の辻褃があっていないと絶対にだめというわけではない。数字があまりにも乖離している場合は、その理由をしっかりと把握して、説明が出来れば問題ないと思われる。乖離の理由を書面で準備して、第三者にも説明できるように整理していただければという回答であった。

●閉 会 挨拶 鳥取労働局雇用環境・均等室室長 斎木和紀 氏

参 加 者 アクセス数：21

・参加医療機関：14医療機関

・医療労務管理アドバイザー：4人

・その他：3

会場参加者：7人